

神経精神科

(1) スタッフ(平成 23 年 3 月 31 日現在)

部長:山岸 洋
シニアレジデント医師:小林 祐子
シニアレジデント医師:前田 耕路
シニアレジデント医師:水田 弘人
シニアレジデント医師:三木 寛隆
応援医師:藤本 心祐
応援医師:丸山 千佳
臨床心理士:吉岡 千波
精神保健福祉士:宮田 暢子

(2) 診療体制と特徴

- うつ病などの気分障害や神経症圏の病態を中心に、統合失調症や症状性・器質性精神障害なども含む精神疾患全般の診療を行なっている。平成 17 年 7 月より神経精神科外来では、初診の完全予約制を実施している。これによって、外来新患に対するより綿密な診断とより上質な治療導入過程が実現されることを目指している。
- 平成 18 年度までは 54 床の精神科病棟において開放的な環境の中で幅広い精神疾患の入院治療を行なってきたが、平成 19 年春より病床数を変更し、届出病床数 20 床とした。開放病棟の枠組みは維持して、わが国の総合病院精神科病棟の中でも最良質の精神療法的環境を提供できる病棟を目指す。平成 22 年度は診療報酬改定により、算定基準の変更のため 15:1 入院基本料を算定することとなった。
- MRI・CT・脳波や知能テスト・心理テストなど各種検査を通じて、身体と心理の両面から精神疾患にアプローチし、診断に役立てている。
- 必要に応じて、臨床心理士によるカウンセリングを行ない、治療に役立てている。
- 精神保健福祉士が相談に応じており、医療面で利用できる制度や社会資源の紹介を行なっている。保健センターや作業所なども密接に連携し、患者の早期社会復帰を目指している。
- 入院統計:
神経精神科が入院担当した今年度入院患者(平成 22 年 4 月 1 日から 23 年 3 月 31 日までの期間に新たに入院した患者)のべ数は 125 名(男性 32 名、女性 93 名)(昨年度は 177 名、一昨年度は 169 名)であった。その疾患別内訳は、気分障害圏(F3)が 67 名(53.6%)、統合失調症圏(F2)が 39 名(31.2%)、神経症圏(F4)が 14 名(11.2%)、器質性精神障害圏(F0)が 4 名(3.2%)などとなっている。神経精神科担当入院患者の今年度の年間在院延日数は 5442(昨年度 4185、一昨年度 3630)、年間入退院数は 249 で、平均在院日数は 43.7 日(昨年度 23.9 日、一昨年度 24.1 日)であった。

7. 外来統計:

神経精神科の今年度外来患者のべ数は17568名(昨年度17822名、一昨年度19361名)、今年度病院営業日数は282日(昨年度281日、一昨年度281日)であり、1日あたり外来受診数は62.3名(昨年度63.4名、一昨年度68.9名)であった。また今年度外来初診総数は447名(昨年度525名、一昨年度469名)であった。

また平成22年3月1ヶ月間における外来受診患者(実数1187名、うち男性494名、女性693名)の疾患別内訳は、気分障害圏(F3)458名(38.6%)、統合失調症圏(F2)372名(31.3%)、神経症圏(F4)240名(20.2%)、器質性精神障害圏(F0)42名(3.5%)などとなっている(なおF1=8名、F5=9名、F6=3名、F7=8名、F8=19名、G409=13名、それ以外=5名)。

臨床心理士によるカウンセリングは月平均66回(昨年度月平均62回)、同じく心理検査は年間総数175件、うち能力検査111件、その他64件(昨年度は年間総数226件、うち能力検査117件、その他109件)が行なわれた。

(3) 主な院外活動

大阪精神科懇話会を年1~2回共催し、精神科領域のエキスパートを講師に招いている。

第66回大阪精神科懇話会

日時：平成22年11月20日(土)18:00~

場所：山西福祉記念会館(大阪市)

座長・司会：池村義明, 山岸洋

講師：松下正明先生(地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター理事長)

講演演題：「ヤスパース『精神病理学総論』再読」

(4) 研究

学会発表

- 1) 山岸洋:「急性精神病」という枠づけのもつ司法的意義について. In:シンポジウム「急性精神病における診断概念と実践の懸隔」. 第106回日本精神神経学会学術総会, 2010.5.20-22. 広島市.
- 2) 山岸洋:19世紀ドイツの大規模精神科病院の設立構想とその基本理念——Badenの精神科医 C.F.W.Rollerの目指したものと残したもの. 第14回精神医学史学会, 2010.10.29-30. 宇都宮市.
- 3) 水田弘人, 三木寛隆, 小林裕子, 前田耕路, 山岸洋:総合病院精神科病棟の入院患者にみられる妄想の統計的検討. 第108回近畿精神神経学会, 2011.2.19, 京都市.

論文発表

- 1) 山岸洋:総合病院精神科と精神病理学. 福岡行動医学雑誌, 第17巻第1号, 152-154, 2010.
- 2) 藤本心祐: [Kubota M](#), [Miyata J](#), [Yoshida H](#), [Hirao K](#), [Fujiwara H](#), [Kawada R](#), [Fujimoto S](#), [Tanaka Y](#), [Sasamoto A](#), [Sawamoto N](#), [Fukuyama H](#), [Murai T](#).:Age-related cortical thinning in schizophrenia. [Schizophr Res.](#), 125(1); 21-29, 2011.

著書(訳書)

- 1) 山岸洋(翻訳):S.フロイト「不安神経症」に対する批判について. In:新宮一成ほか編:フロイト全集3. p.109-131. 岩波書店, 東京, 2010.

- 2) 吉岡千波(翻訳):ゲアリー・エメリイ(著)東齊彰, 前田泰宏(監訳)吉岡千波, 吉岡綾, 三好敏之, 太田有希, 巢黒慎太郎, 内田由可里(訳):うつを克服する10のステップーセラピスト・マニュアル. 金剛出版, 東京, 2010.